

「かわせみ会」便り

令和6年 1月号
俳句を楽しむ会



明けまして おめでとうございます。「かわせみ会」も2017年(平成29年)3月に創設し、66回目の開催を迎え、会員も回を重ねる毎にレベルUpし、多くの秀作が詠まれて来ました。今期末(4~9月を点数評価)に優秀作の会員表彰も行い、更なるレベル向上を誓い合いました。

全国におられるOB会会員の皆様へ ※「かわせみ会」に“投句”して参加しませんか！

右記のアドレスにメールしてください⇒ Gmailアドレス ; komatsu.yuuyuukai@gmail.com

8月~9月度の詠句

- ・ 迎え火の煙の中に子と孫と
- ・ 遠花火光と音の絡み合い
- ・ 猛暑中元気に楽し甲子園
- ・ 濁り無き白の力感雲の峰
- ・ 窓下の落蟬空に返しけり
- ・ 茅葺の麓純白蕎麦の花
- ・ じゃじゃ孫も世に揉れしや栗になり
- ・ 窓を開け待ちて恋しき秋の風
- ・ 西日さす狭間輝く竹の春

10月~11月度の詠句

- ・ 近づいて木犀の香を独り占め
- ・ 山麓の微風に波打つ芒かな
- ・ 西寄りの風に舞ひたる落葉かな
- ・ 歩を返す金木犀の香に惹かれ
- ・ 朝露の葉先きらめく散歩道
- ・ 散り急ぐさくら葉紅く冬支度
- ・ 熟れ柿や我と鳥とのせめぎ合い
- ・ 鴨来るきのふと違う川の相
- ・ 邑に入りたわわの柿の空に浮く

◆ 写真を見て一句の兼題

【8月】墓参り

- ・ 孫連れて初墓参り
- ・ 里の旅
- ・ 無沙汰詫び好みの
- ・ 供物墓参り

【9月】ススキ

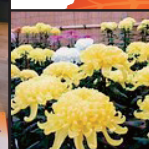
- ・ 芒穂の揺れて銀海
- ・ 曾爾高原
- ・ 風の舞う芒が原は
- ・ 波模様

【10月】菊

- ・ 軽トラの菊鉢降ろす
- ・ 展示場
- ・ 道端の野菊避け避け
- ・ 犬の足

【11月】団栗

- ・ 団栗を拾ひ大きさ
- ・ 競う子ら
- ・ 林路流れ寄りたる
- ・ 櫟の実



担当幹事：
鳥越・園田・金子